

PRESS RELEASE 2012年12月3日

ニューヨーク近代美術館(MoMA)で日本映画特集を開催 監督も舞台挨拶 「アートシアターギルドと日本のアンダーグラウンド映画 1960～1984年」

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）とニューヨーク近代美術館（MoMA）は、12/6より「アートシアターギルドと日本のアンダーグラウンド映画 1960～1984年」と題し、北米で最大規模となる、アートシアターギルド（以下ATG）と60年代初期～84年までのアンダーグラウンド映画の特集上映を行います。

オープニングには大林宣彦監督（『転校生（1982年）』ほか）、会期中には羽仁進監督（『彼女と彼（1963年）』ほか）をゲストに迎え、舞台挨拶を行います。本特集のプログラミングは、平沢剛（明治学院大学）、ローランド・ドメーニグ（ウィーン大学）、ジョシュア・シーゲル（MoMA映画部）によるもので、米国でのATG特集は、MoMAを皮切りに、ハーバード・フィルム・アーカイブ（基金との共催）、パシフィック・フィルム・アーカイブ（基金助成事業）などを巡回します。

本上映会は国際交流基金設立40周年記念事業として開催されます。なお、国際交流基金は本関連企画として、11/18～2/25まで企画展「TOKYO 1955-1970:新しい前衛」（英名:TOKYO 1955-1970:A New Avant-Garde）をMoMAと共催しているほか、MoMAから出版されるドキュメント「From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989: Primary Documents」に助成・協力しています。



上:『儀式』© Oshima Productions 下:『薔薇の葬列』©1969 Matsumoto Production

*アートシアターギルド(ATG): 1960年代～1980年代半ばまで、前衛的・芸術的な映画を数多く製作、配給した映画会社。

「アートシアターギルドと日本のアンダーグラウンド映画 1960～1984年」

英題: Art Theater Guild and Japanese Underground Cinema, 1960-1984

【会期】 12月6日～2月10日

【会場】 ニューヨーク近代美術館（MoMA）ロイ・アンド・ニウタ・タイトス・シアター

【大林宣彦監督 舞台挨拶】 12月6日 18:30『転校生』、12月7日 18:30『廃市』

12月8日 14:00『日本のアンダーグラウンド映画 プログラム1:大林宣彦と高林陽一』

【羽仁進監督 舞台挨拶】 日程未定

【上映作品】松本俊夫『薔薇の葬列』、大島渚『儀式』、黒木和雄『とべない沈黙』、若松孝二『天使の恍惚』、今村昌平『人間蒸発』、新藤兼人『人間』ほか、40プログラム（短編作品を組み合わせたプログラムも有）

【主催】 ニューヨーク近代美術館、国際交流基金ニューヨーク日本文化センター

【URL】 www.moma.org/visit/calendar/films/1337#related_screenings

【お問い合わせ】文化事業部 情報提供・映像管理チーム 担当:西川
電話:03-5369-6064



国際交流基金設立40周年

国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1
www.jpf.go.jp